

事務事業チェックシート

事務事業No 388 事業名 衛生微生物検査事務

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
基本方針	3	検査体制の強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		衛生研究所費
	大事業		衛生研究所事業
事項		衛生微生物検査事務	

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	S 5 2	～
事業実施の根拠法令	食品衛生法・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律・水質汚濁防止法	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	衛生研究所	森野 吉晴(453-0055)
関連課	生活保健課、環境政策課等	

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
事業概要	保健所の年次計画に基づいて取去された市内流通食品の衛生監視のため微生物検査 保健所の依頼による公衆浴場水や環境水の感染性細菌及び汚濁指標菌検査 環境政策課の依頼による河川水の汚濁指標菌検査 市民等からの衛生管理のための食品細菌有料依頼検査 市民等からの井戸水、浴場水等の細菌有料依頼検査 調理従事者等からの病原細菌及び寄生虫卵の検便有料依頼検査 国及び近畿地方衛生研究所の研究会等への参加及び開催による検査技術の研鑽、情報の収集、伝達				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	保健所からの依頼による、衛生監視のために取去された市内流通食品の微生物検査	保健所からの依頼による、衛生監視のために取去された市内流通食品の微生物検査	保健所からの依頼による、衛生監視のために取去された市内流通食品の微生物検査	保健所からの依頼による、衛生監視のために取去された市内流通食品の微生物検査	保健所からの依頼による、衛生監視のために取去された市内流通食品の微生物検査
	保健所からの依頼による、環境水や公衆浴場水の感染性細菌、衛生指標菌検査	保健所からの依頼による、環境水や公衆浴場水の感染性細菌、衛生指標菌検査	保健所からの依頼による公衆浴場水等の感染性細菌、衛生指標菌検査	保健所からの依頼による公衆浴場水等の感染性細菌、衛生指標菌検査	保健所からの依頼による公衆浴場水等の感染性細菌、衛生指標菌検査
	食品取扱業者等からの有料依頼による、食中毒防止のための、食品の細菌検査や、調理従事者の検便保菌者検索	食品取扱業者等からの有料依頼による、食中毒防止のための、食品の細菌検査や、調理従事者の検便保菌者検索	食品取扱業者等からの有料依頼による、食中毒防止のための、食品の細菌検査や、調理従事者の検便保菌者検索	食品取扱業者等からの有料依頼による、食中毒防止のための、食品の細菌検査や、調理従事者の検便保菌者検索	食品取扱業者等からの有料依頼による、食中毒防止のための、食品の細菌検査や、調理従事者の検便保菌者検索
	市民からの有料依頼による井戸水等の細菌検査	市民からの有料依頼による井戸水等の細菌検査	市民からの有料依頼による井戸水等の細菌検査	市民からの有料依頼による井戸水等の細菌検査	市民からの有料依頼による井戸水等の細菌検査
	環境政策課からの依頼による河川水の汚濁指標菌検査	環境政策課からの依頼による河川水の汚濁指標菌検査	環境政策課からの依頼による河川水の汚濁指標菌検査	環境政策課からの依頼による河川水の汚濁指標菌検査	環境政策課からの依頼による河川水の汚濁指標菌検査

2 事業コスト

事業費等 千円			平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費		2,948	3,261	2,930	2,833	2,670		2,670		2,670	
	伸び率 (%)		-	-	-0.6%		-8.9%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	10,394	12,884	12,884	11,576	9,257		9,257		9,257	
		非常勤職員	1,808			339	699		699		699	
		小計	12,202	12,884	12,884	11,915	9,966		9,966		9,966	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他		6,436	5,892	6,605	5,616	6,579		6,579		6,579	
一般財源(税等)		-3,488	-2,631	-3,675	-2,783	-3,909		-3,909		-3,909		
所要人数	常勤職員	1.40	1.72	1.72	1.52	1.22		1.22		1.22		
	非常勤職員	0.86	0.00	0.00	0.20	0.47		0.47		0.47		
主な予算内訳		管外出張旅費197千円、消耗品費233千円、庁用器具修繕料69千円、医薬材料費2,087千円、手数料29千円、廃棄物等処理委託料42千円、各種会議負担金13千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	検査実施項目数(衛生微生物検査)				年度目標値				
					実績値	7,436	8,026		
	単位	項目	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	衛生監視計画や市民ニーズに基づいた的確で正確な検査対応の実施				年度目標値				
					実績値				
	単位		全体目標値	全体目標達成度	A	年度別達成度	A	A	
					年度目標値				
					実績値				
	単位		全体目標値	全体目標達成度		年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市内における食中毒や感染症は減少する傾向がないばかりか、近年の食生活や食品流通の変化によって、毎年のように新たな感染症に係る問題が発生するため、積極的に情報を収集し的確な検査対応が必要である。
「見直し」 「改善」案	精度が高く効率も良い検査法の情報を収集し、検討改良することで処理量を改善するよう心がけている。 依頼元である保健所等行政機関と年間の計画を毎年見直すことで、より必要性のある検査を実施するようになる。